

ビッグハート BigHeart

第30号
発行 平成30年 8月

郡山市字上亀田1番地の1
TEL 024-934-1240
郡山市医療介護病院
広報委員会 発行

基本理念

生命の尊重と個人の尊厳を旨とし
和をもって市民に信頼される
保健・医療・福祉サービスを提供します。



巻頭言



院長 原 寿 夫

一病息災と言われますように、持病の一つくらいあった方が、健康に気を配り、長生きのようです。とは、昔から言われていますが、息災は仏教用語で、仏様の力で災いを防ぎ止めることだそうです。

持病は、今日の生活習慣病でしょうか、以前は成人病とも言いましたが、歳とともに誰しもあるのではなく、一人ひとりの生活習慣によって病的になる方もあれば、そうでない方もある。という個人の生活習慣が大きく関わることから、成人病から生活習慣病へ、名称が変わったようです。代表的な病気に、高血圧症や糖尿病があります。

食文化として、世界を塩とコショウに分けて論じることがありますが、日本人は完璧に塩の食文化圏に入ります。よって、高血圧症への配慮は不可欠です。さらに、氷河期を幾度も耐え忍んできた長い歴史の中で、西欧のアンダロサクソンに比し、日本人を含むモンゴロイドは少ない栄養でも生きながらえる効率の良い体を作ってきていると言われ、逆に高栄養を摂り

こんでしまうと糖尿病になりやすいとも言われています。

このような文化的、歴史的背景の中で生活してきた私たちですが、治療面から考えると薬と生活、薬物療法と食事や運動の組み合わせによって対応します。

高血圧症であれば、塩分を控えるには言いえますが、薬の効果ははるかに大きく、この薬でこの血圧です。しかし、糖尿病になると、薬でいかにコントロールしようとしても、気ままな生活ではどうにもなりません。薬の効果は限定的です。

さらに、平均寿命が八十歳を超え、人生百年時代ともなる

と、認知症が、あるいは認知症を伴った様々な病気が大きな課題となります。認知症は、診断治療、そして早期からの対応がとても大切ですが、中核症状、周辺症状ともに決定的な治療方法は確立されていません。

逆に生活の中での様々な関わりが大きく関与することが多々あります。

その意味では、高血圧症よりも、糖尿病よりも、認知症の場合には生活面の比重が大きいように思います。さらに、家族の方等関係者の理解も大切です。

地域に開かれた認知症カフェや、認知症サポーター養成講座等させて頂いています。が、やさしさあふれる街、ユマニチュード・ファミリアの実現へ向け、

「やさしさを街へ」広げていきたいと思っています。ご支援の程、宜しくお願い致します。

病院お花見会

平成三十年四月十八日に第三回お花見会が正面玄関ホールにて行われました。
 今年は春先暖かい日が続いたため、当院の桜も例年より一週間ほど早く開花しお花見会当日には桜は散ってしまいました。しかし実行委員の皆さまは、前日より会場に花飾りの飾り付けを行った遅咲きの桜を準備したりと雰囲気作りに余念がありませんでした。当日は職員手作りの甘酒とあんこ団子を入院患者さんや通所リハビリの利用者さんに振る舞い皆さん一緒にいただきました。「美味しい」と絶賛の声が多数聞かれました。さらに会の後半ではカラオケを歌い、全員で大合唱となり楽しい一時を一緒に過ごすことが出来ました。来年は病院の桜で、お花見が出来ればと思います。



(乾杯！ 実行委員長のかけ声で)



(きれいな遅咲き桜と花飾り)



(全員でカラオケを大合唱)



(原院長の挨拶 桜と)



(宗形看護部長の挨拶)



(美味しい甘酒とあんこ団子)

んは、前日より会場に花飾りの飾り付けを行った遅咲きの桜を準備したりと雰囲気作りに余念がありませんでした。当日は職員手作りの甘酒とあんこ団子を入院患者さんや通所リハビリの利用者さんに振る舞い皆さん一緒にいただきました。「美味しい」と絶賛の声が多数聞かれました。さらに会の後半ではカラオケを歌い、全員で大合唱となり楽しい一時を一緒に過ごすことが出来ました。来年は病院の桜で、お花見が出来ればと思います。

市民公開講座

平成三十年六月三十日(土)に市民公開講座を開催しました。例年当院開院記念日(六月一日)にあわせて開催しており、今年も郡山市との共催での開催のため郡山医師会主催、郡山市共催というかたちでの公開講座となりました。当日は講演と実践報告との二部構成となりましたが、講演に先立ち一般社団法人郡山医師会 土屋繁之会長と郡山市 品川萬里市長(菅野利和副市長)が主催者挨拶を行いました。

今年度のテーマと講師は下記の通りです。当日はサプライズゲストとしてユマニチュードの創設者のお一人である、イヴ・ジネスト先生も本田先生と一緒に郡山にお出でになり登壇されました。本田先生の講演ではユマニチュードについて、今年NHK厚生文化事業団で作成したDVDを織り交ぜながら、特に在宅で生活されている認知症の高齢者とその方を介護しているご主人と娘さんの事例を取り上げながら具体的な説明を行っていただきました。そこにはユマニチュードの哲学と、当事者とご家族がどのように取り組んで、互いに変わっていく姿を見ることができました。ユマニチュードの技法は認知症のご本人だけではなくそのご家族も幸せにするものだと心に響いてきました。

第二部では当院で今年度の認知症ケア学会でポスターセッションとして発表した内容を元に看護師が登壇し実践報告を行いました。また昨年度から静岡大学との共同で職員の研修の仕組みと効果について研究と実践を行ってきましたが、その報告を大学の小俣氏より報告がありました。当日は市民、専門職、看護学校生など幅広い世代のみなさん四百名近く参加いただき盛会に、また有意義な講座となりました。



(発表用ポスターと講演会会場)

【第一部】
 講演「ユマニチュード、優しさを伝えるケア技術、認知症になっても安心して暮らせる地域を目指して」
 講師 東京医療センター総合内科 医長 本田美和子先生

【第二部】
 実践報告 「ユマニチュードの取り組み、郡山市医療介護病院でのユマニチュードの実践」
 ●報告一 立位支援と食事支援により全身状態が改善したケースレポート
 (1)療養型病院におけるスタンディングマシン活用の効果拡大
 二病棟看護師 滝田 幸
 (2)意欲に合わせたスタンディングマシン活用の波及効果
 三病棟看護師 柿本 聡子

●報告二 Evidence-based認知症ケアのための映像をもちいた協調学習環境の構築と評価
 静岡大学創造科学技術大学院 小俣 敦士氏

通所リハビリテーションお花見

平成三十年四月三日から十日に当院の桜の開花に合わせて通所リハビリテーションのお花見を開催しました。
 今年は、例年より一週間ほど早く桜が開花しましたが天候に恵まれた日が多く、たくさん利用者の皆さんがお花見に参加できました。当院の桜は枝垂れているため車イスやベンチに座った目線の高さで鑑賞することができます。この記事では写真を中心に、利用者の目線でご紹介したいと思います。



(スタッフと談笑)



(ではお花見へ出発！)



(天気も良く花見日和)



(到着ベンチに腰掛けて)



(桜のトンネル)



(左:本田先生 右:ジネスト先生)



(受付の様子)



(第二部 実践報告)



(講演会の様子1)



(講演者等集合写真)



(講演会の様子2)

平成三十年度カフェ事業が始まりました

平成三十年度のカフェ事業が始まりました。「ビッグハートカフェ」は毎月第二水曜日午後一時〜午後二時三十分で、毎回二十分程度病院の専門職からミニ健康講座ということで「健康づくり」にちよつとい話し」を行っています。参加費は無料です。



各所で開催されている認知症カフェのひとつです。参加費として市内共通で二百円いただきます。ルワンダコーヒーやお菓子など準備しています。一度お出かけ下さい。

在宅医療・介護連携推進 研修会

一般社団法人郡山医師会「在宅医療・介護連携推進特別委員会」は平成三十年一月〜三月にかけて市内の専門職を対象に三回の研修会を実施しました。いずれも郡山市医療介護病院三階大会議室を会場に、「在宅医療・介護連携推進研修会」としてそれぞれ次のことをテーマに各講師が意見を述べました。

第一回「医療と生活の接点をさぐる」
第二回「在宅における看取りの現状」
第三回「在宅医療・介護連携の現状と課題」

以上三回の研修会では医師会会員、歯科医師、薬剤師、介護支援専門員、病院ソーシャルワーカー、訪問看護師、地域包括支援センター、行政などから延べ三百九十七名の参加がありました。

大原事務部長を偲んで

去る四月二十九日に当院事務部（元）部長の大原秀人さんが逝去されました。本年二月下旬より病氣療養のために入院し治療を行っていましたが、突然の訃報に職員一同驚きと悲しみを禁じ得ませんでした。大原部長は平成二十八年三月に郡山市の財務部長を退職し、当院の事務部長に就任しました。以前に郡山市で勤務していたときには、当院建設に携わり、病院の事情にも詳しい方でした。謹んでお悔やみを申し上げます。



福祉DVD教材 《ユマニチュード》

NHK「クローズアップ現代」や「あさイチ」などで放送され、大きな反響を呼んだ認知症ケア《ユマニチュード》がDVDになりました。NHK厚生文化事業団では送料のみご負担で無料で貸出しを始めました。ご家庭で介護に悩んでいる方、地域で認知症の人やそのご家族を支えたいという方に向けて、ユマニチュードを分かりやすく伝える教材です。タイトルは『優しい認知症ケアユマニチュード』で三巻構成となっています。それぞれの内容は、「ユマニチュードって何だろう 入門編」フランス生まれの認知症ケア・ユマニチュードを初めて学ぶ人のための入門編で当院も協力しています。ジネスト先生が自身の介護体験も交えて、ユマニチュードが生まれた背景や哲学、基本の技術について語ります。「ユマニチュードをやってみよう 実技編」家庭でユマニチュードを実践してみたいという人のために、基本の技術をインストラクターのお手本映像と解説で伝える実技編。「私のユマニチュード 家族の実践編」地域の介護力を上げるためにユマニチュードの普及に乗り出した福岡市の取り組みを紹介します。



興味のある方はどうぞご利用下さい。詳しくは、当院連携室またはNHK厚生文化事業団までお問い合わせ下さい。

外来当番表

診療科目	月	火	水	木	金
内科	太田 一寿	原 寿夫	太田 一寿	原 寿夫	太田 一寿
皮膚科	休 診	折笠 玲子	休 診	休 診	折笠 玲子
整形外科	武田 幸恵	丸山 俊章	武田 幸恵	武田 幸恵	丸山 俊章

◆診療時間 月～金/午前9時～正午まで ◆休診日 土曜日・日曜日、祝祭日、年末年始



【交通のご案内】
●福島交通バス：郡山駅発第9・10番ポールより乗車下さい。希望ヶ丘、新池下団地行郡山ビッグハート下車
●郡山駅より車で十分
●東北自動車道郡山インターより車で八分

「郡山ビッグハート」は郡山市医療介護病院と郡山市休日・夜間急病センターの複合施設の変称です。市民の皆様の健やかで心豊かな生活を支援する施設です。

【2018ビッグハート感謝祭のお知らせ】

○日付 平成三十年九月八日（土）
○会場 郡山市医療介護病院 正面玄関付近
○当院最大級のイベントです。
皆さまのご参加心よりお待ちしております。

◆今年も初夏の時期に郡山北ロータリークラブから寄贈の花カツミの花が咲きました。この花カツミは開花している時期が非常に短く三〜六日程度しか花を見れないので幻の花ともいわれています。また郡山市の市の花としても認定されています。（土呂）

